

平成 26 年 8 月 8 日

外部有識者アンケート調査結果を踏まえた公開プロセス等の改善の方向性について [議論のたたき台] (案)

1. 対象事業の選定について

(外部有識者からの指摘)

- 公開プロセス対象事業について、今回から、外部有識者会合を活用し、外部有識者から意見聴取等を行った上で選定することとしたところ。
約 8 割の外部有識者からは、大半の事業が公開の場で議論するのにふさわしい事業であったとの回答があったが、「議論の対象になりにくいものばかりだった」、「公開の場で議論するに値するような工夫の余地があまりないと感じた」とする意見もあった。また、「やや形式的に終わった」、「所管する事業全体との関連において選定すべき」などの指摘もあった。

(考えられる対応の方向性)

- 公開プロセス対象事業は、あらかじめ行政事業レビュー推進チームで対象事業を幅広く選定した上で、外部有識者会合で絞り込むこととすべきではないか。
- その際、政策評価書等を活用して、所管事業全体の中での対象事業の位置づけを明示すべきではないか。
- 事業内容の改善の余地の少ない事業や深度ある議論が期待できない事業は対象としないよう徹底すべきではないか。

2. 成果指標及び活動指標について

(外部有識者からの指摘)

- 「適切な指標が設定されていた」又は「おおむね適切な指標が設定されていた」との回答が 7 割弱であった。一方で、外部有識者の意見の中には「アウトプット指標とアウトカム指標を混同している」、「上位目標との関係が明確でない」などの指摘もあった。

(考えられる対応の方向性)

- 成果指標及び活動指標について、適切な指標が設定されるよう、さらに行政事業レビュー推進チームにおけるチェックを強化することが必要ではないか。
- 行政改革推進本部事務局においても、適切な指標の事例の収集や各府省の担当職員に対する研修等を通じ、指標の改善に取り組むべきではないか。

3. 事業担当部局による自己点検について

(外部有識者からの指摘)

- レビューシートの「自己点検」欄に関して、「十分な見直し内容が記述されていた」との回答は約2割にとどまった。外部有識者の意見の中には「見直し策に具体性が乏しい」、「事業ありきの発想から書かれているような記述が多い」などの指摘もあった。

(考えられる対応の方向性)

- レビューシートの「自己点検」欄について、事業所管部局が厳格な点検を行うとともに見直し内容を具体的に記載するよう、さらに行政事業レビュー推進チームのチェックを強化することが必要ではないか。

4. 公開プロセスの運営について

(外部有識者からの指摘)

- 「廃止」の選択肢を追加したことについては、評価するとの指摘が総じて多いが、短時間で「廃止」の判断をするのに違和感を覚える、行政事業レビューが事業を廃止するために行われると受け止められかねない点を十分認識すべき、との意見もあった。
- 今回の公開プロセスにおいては、意見が割れた場合の対応について、一つの結論を得ることを目指して外部有識者間で議論し、それでもなお結論を得ることが困難な場合には、票の分布を紹介することとした。この点については、「意見が割れた場合に調整することとしたことは良かった」と評価する意見があったが、「評価が割れた場合のとりまとめ方法に改善の余地がある」、「あえて「一致した評価結果」を求める必要はない」とする意見もあった。
- 選択肢に対する外部有識者間の認識について、評価者によって受け止め方が異なる場合がある旨の意見が多くあった。
- 議論の公開について、インターネット中継が有料であれば改善の余地があるとの指摘もある一方で、「インターネット中継を継続することが適当」、一般傍聴をお願いするとかもう少しマスコミの方々にも傍聴して頂くようにすべき、等の意見があった。

(考えられる対応の方向性)

- 評価結果の選択肢について、定義をより明確化した上で、外部有識者会合の場などを活用し、有識者間で事前に認識を共有するべきではないか。
- 外部有識者会合の場などを活用し、行政改革推進本部事務局から外部有識者に対し、外部有識者に期待される役割や事業を点検する上での留意点などを説明する機会を設けるべきではないか。
- その他、客観的かつ効率的なとりまとめが行われるためのより適切な方策はあるか。
- 公開プロセスにおける政務の関与をどう考えるか。